



座金を入力したい！

部品マスターで詳細を設定します

REAL4Ver3 より、座金の設定ができるようになりました。

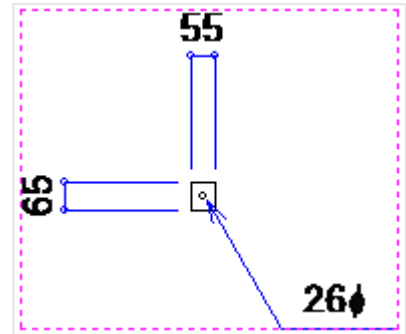
【部品マスター】で部品種類【15-座金】を選択し、サイズや材質などを入力し座金を登録します。

部品名 座金 径26 管理名 Memo

部品種類 15 - 座金

材種	1 - フレート
サイズ	6
材質	1 - SS400
ワッシャーの形	1 - 口
ワッシャーの内径	26
ワッシャーの幅	55
ワッシャーの高さ	65
出力方法	3 - 部品図 + 型紙

初期化 共通化 共通読込 OK キャンセル



【ベースマスター】 - 【座金】で、
あらかじめ【部品マスター】で作成しておいた座金を選択します。

ベース名 C1 管理名 Memo

ベース種類 1 - Sベース

リストずれ量X	100
リストずれ量Y	-100
リスト回転	1 - 回転なし
キリ径	25
ボルト種類	4 - 転造ねじアンカーボルト
ボルト材質	80 - ABR490
ボルト径	20
ボルト長さ	800
座金	なし
ボルト詳細設定	なし
定着板種類	座金 径26
ボルト配置	なし
切り欠き設定	なし
リブ設定	あり

初期化 共通化 共通読込 OK キャンセル

座金は、下記作図に対応しております。

- ・アンカープラン図
- ・軸組図
- ・継手基準図
- ・柱詳細図
- ・間柱詳細図
- ・梁詳細図
- ・鉄骨基準図
- ・部品図
- ・型紙

その他 管理資料及び3DViewerでもご確認いただけます。

※3DViewerの表示色種類は取付部材に依存致します。

【継手マスター】で継手種類-【ガセット】、
【エンドプレートを入力】=【2-あり】にすると、エンドプレートの情報入力する項目が表示されます。

【エンドプレートの取付方法】=【2-ボルト】
【使用するボルト】=【2-アンカーボルト】
にすると、部品マスターで作成した【座金】
を選択することができます。

一般 ガセット 削除ボルト

付FLGの板幅	<自部材の幅と同様>
付FLGの高さ	1 - 自部材の梁せいと同様
付FLGの取付け位置	1 - 自動
付FLGの鋼材とのすきま	0
ハイスギップ構法	1 - パラメーター参照
エンドプレートを入力	2 - あり
エンドプレートの板材質	溶接部材と同材質
エンドプレートの板厚	12
エンドプレートの幅	200
エンドプレートの高さ	200
エンドプレートの基準	1 - 板芯
エンドプレートの板ずれX	0
エンドプレートの板ずれY	0
エンドプレートの取付方法	2 - ボルト
使用するボルト	2 - アンカーボルト
ボルト種類	1 - アンカーボルト L型
ボルト材質	1 - SS400
ボルト径	16
ボルトキリ径	21
ボルト長さ	400
座金	座金 径26
ボルト詳細設定	なし
ボルト配置	座金 径26

初期化 共通化 共通読込 OK キャンセル